



# 長門の話題

## Topics

### 年賀郵便元旦配達出発式を12年ぶりに復活実施 平成最後の年賀状が配達

1月1日(火)、長門郵便局で「平成31年年賀郵便元旦配達出発式」が行われました。これは平成最後となる年賀状を機に、改めて新年のあいさつとして差し出される年賀状文化を普及させることを目的に、12年ぶりに復活実施されました。



▲平成最後の年賀状を積んだ郵便バイクが次々と出発

1月1日(火)、長門郵便局で「平成31年年賀郵便元旦配達出発式」が行われました。これは平成最後となる年賀状を機に、改めて新年のあいさつとして差し出される年賀状文化を普及させることを目的に、12年ぶりに復活実施されました。



▲テープカットで出発を祝う

### 田屋地区と伊上地区にまちづくり協議会が発足 市民協働で集落再生を

市民協働によるまちづくりを推進するため、12月23日(日)に田屋地区で、12月25日(火)に伊上地区でまちづくり協議会の設立総会が開催され、それぞれの地区で協議会が発足しました。



▲田屋地区では交流を深める教室や清掃美化活動などを予定

田屋地区の設立総会には自治会長や民生委員などが出席。会長に選任された松永博則さんは「住民の関係を築き、行事などに参加してもらえたら」と抱負を述べました。



▲伊上地区では高齢者向けの講座や伊上クラブの管理などを予定

# 長門のPeople

## 寮母として、子どもたちの成長を見守る

おたまりこ  
大田 真理子さん (グラン・ジユテ経営者 / 東深川在住)



この冬、花園に出場した大津緑洋高校ラグビー部には、親元を離れ、寮から通う選手がいます。その寮母となって見守ってきたのが大田真理子さんです。大田さんは、自身が経営するホテル「グラン・ジユテ」の一部を寮にし、平成26年から17人のラグビー部員を受け入れてきました。

と笑って話す大田さん。規則正しい生活を身に付けさせようと苦労したといいます。時に学校生活や進路について相談を受けることもあり、生活面だけでなく精神面でも支えてきました。寮生に対しては、「本当におめでとう。花園に行きたい」とその言葉が願望であった時期もあったけれど、いつしか目標となり達成できた。その意識の変化を忘れずに、誰のためでもなく自分のために努力し続けて欲しい」との言葉を贈りました。



▲現在、大田さんのもとで9人の寮生が生活しているという

## 旬な人

### 市民のかけがえない命を守ることを第一に 図上訓練で災害対応確認

1月17日(木)、3市(長門市・下関市・美祿市) 合同防災図上訓練が、ルネッサながとを会場に実施され、市、消防団、陸上自衛隊など11機関の約110人が訓練に参加しました。



▲災害情報を集約および分析の上、的確な対応を行うことが求められる

発生したという想定で行われました。各機関は、災害状況が付与されると、迅速に原状を分析。避難所開設や要救助者に対する人員配置、応援要請などを行いました。最後には、見つかった課題への対応方法の検討がなされました。